

さっぽろテレビ塔ビアガーデン 2025 レビュー (& ピコレワインフェア)

2025.10.27 料飲) 伊賀 智史

【2025年 全体の振り返り】

日程)

- 4月26日（土）～5月18日（日） ピコレワインフェア春 参画（ヒツジニワイン・23日間）
- 5月30日（金）～9月15日（月・祝） さっぽろテレビ塔ビアガーデン（109日間）
- 9月20日（土）～10月5日（日） ピコレワインフェア秋 参画（ヒツジニワイン・16日間）

総括)

今年度のさっぽろテレビ塔ビアガーデン（ピコレワインフェア含む）は上記の日程にて合計148日間の営業を行いました。

売上については、概算179,377千円となり、今年度154,408千円の収入予算に対し+24,969千円・116.2%にて終了しております。

4～5月にかけてのピコレワインフェアはおおよそ前年並み、ビアガーデンはオープンからオープンを迎えると天候に恵まれて最高の立ち上がりとなりました。

これまで過去2年間はメディアが入るのはオープン日のラジオのみでしたが、好天に恵まれたことと赤れんがオープンも相まって、江良課長、遠藤さんの調整で

多くのテレビ局から取材があり口ケットスタートを決めることができました。天候指数も6月は前年比121.2%、7月は115.5%、8月は110.2%と大きく上振れし、伴って

収入についても6月は前年比172.8%、7月は132.4%、8月は110.1%と驚異的な伸びを見せました。また、開催前よりピコレとの交渉で前年から希望していた

5/30(金)-9/15(月・祝)の109日間運営をさせていただけたことも大きなアドバンテージとなりました。昨年のように台風に起因したものではなかったものの

8月下旬から9月あたまにかけて断続的に天候が崩れたことで、オータムフェスト開催前の集客ポイントを失ってしまい、そのままオータムに吸収されたような流れとなりました。

コロナ禍前2019年の開催からはすでに196%の実績となり、飛躍的な成長を遂げましたが、これも事業部の皆さまのお力添えによるものとあらためて感謝を申し上げます。

次年度につきましては天候要因および各イベント時の傾向と対策をさらにブラッシュアップさせ、155,000千円を天候に左右されない収入の基準とおいて運営にあたります。

【2025年 収入部門 KPI 実績対比】

【KPI対比（予算比・前年比）】

実績	営業形態	日数	売上	客数	客単価	予算	計画	日数	売上	客数	客単価	売上予算比	客数予算比	客単価予算比			
4	PC	5	490,136	352	1,392	4	PC	5	543,750	375	1,450	-53,614	90.1%	-23	93.9%	-58	96.0%
5	PC & BG	20	5,112,218	2,610	1,959	5	PC & BG	23	2,847,520	1,600	1,780	2,264,698	179.5%	1,010	163.1%	179	110.1%
6	BG フル営業	30	33,132,365	8,280	4,001	6	BG フル営業	30	22,680,000	6,000	3,780	10,452,365	146.1%	2,280	138.0%	221	105.9%
7	BG フル営業	31	63,022,682	14,790	4,261	7	BG フル営業	31	49,815,000	12,150	4,100	13,207,682	126.5%	2,640	121.7%	161	103.9%
8	BG フル営業	31	61,443,318	14,547	4,224	8	BG フル営業	31	56,840,000	14,000	4,060	4,603,318	108.1%	547	103.9%	164	104.0%
9	BG & PC	26	15,779,145	4,669	3,380	9	BG & PC	26	20,842,025	5,750	3,625	-5,062,880	75.7%	-1,081	81.2%	-245	93.2%
10	BG & PC	5	397,683	274	1,451	10	PC	13	840,000	600	1,400	-442,317	47.3%	-326	45.7%	51	103.7%
総合計		148	179,377,547	45,522	3,940	総合計		159	154,408,295	40,475	3,815	24,969,252	116.2%	5,047	112.5%	126	103.3%

2025	営業形態	日数	売上	客数	客単価	2024	営業形態	日数	売上	客数	客単価	売上前年比	客数前年比	客単価前年比			
4~5	PC 4/27-5/19	23	3,013,909	2,311	1,304	4~5	PC 4/27-5/19	23	2,939,522	2,348	1,252	74,387	102.5%	-37	98.4%	52	104.2%
5	BG 5/30-5/31	2	2,588,445	651	3,976	5	BG 5/27-5/31	5	477,807	133	3,593	2,110,638	541.7%	518	489.5%	384	110.7%
6	BG フル営業	30	33,132,365	8,280	4,001	6	BG フル営業	30	19,170,665	5,174	3,705	13,961,700	172.8%	3,106	160.0%	296	108.0%
7	BG フル営業	31	63,022,682	14,790	4,261	7	BG フル営業	31	47,598,067	11,438	4,161	15,424,615	132.4%	3,352	129.3%	100	102.4%
8	BG フル営業	31	61,443,318	14,547	4,224	8	BG フル営業	31	55,870,570	13,891	4,022	5,572,748	110.0%	656	104.7%	202	105.0%
9	BG 9/1-9/15	15	14,966,464	4,073	3,675	9	BG 9/1-9/8	8	8,816,632	2,410	3,658	6,149,832	169.8%	1,663	169.0%	16	100.4%
9~10	PC 9/20-10/5	16	1,210,364	870	1,391	9~10	PC-BG 秋営業 9/14-10/6	23	4,982,837	1,704	2,924	-3,772,473	24.3%	-834	51.1%	-1,533	47.6%
ピアガのみ109日		109	175,153,274	42,341	4,137	ピアガのみ105日		105	131,933,741	33,046	3,992	43,219,533	132.8%	9,295	128.1%	144	103.6%
ピコレ春・秋		39	4,224,273	3,181	1,328	ピコレ&ピコレ共催		46	7,922,359	4,052	1,955	-3,698,086	53.3%	-871	78.5%	-627	67.9%
総合計		148	179,377,547	45,522	3,940	総合計		151	139,856,100	37,098	3,770	39,521,447	128.3%	8,424	122.7%	171	104.5%

【天候指数による対比 ※別途資料あり】

TOTAL 天候指数 3.49 (3.10 ※秋含む) +0.39 前年比 112.4%

月別評価) ~ MOMENTUM PEAKS - 1ST 2ND 3RD 4TH 5TH - (モメンタムピークス 5段階で評価)

- 4月 平均気温 最高 13.0°C (15.7°C) 最低 5.2°C (6.5°C) <M- 4TH>
天候指数 NONE - ピコレ半屋内展開のため記録せず
- 5月 平均気温 最高 25.9°C (17.0°C) 最低 14.8°C (11.6°C) <M- 2ND>
天候指数 3.67 (1.33) +2.34 前年比 275.9%
- 6月 平均気温 最高 25.8°C (23.9°C) 最低 16.8°C (15.6°C) <M- 2ND>
天候指数 3.32 (2.77) +0.56 前年比 120.1%
- 7月 平均気温 最高 30.4°C (28.0°C) 最低 22.4°C (20.5°C) <M- 1ST>
天候指数 3.69 (3.49) +0.19 前年比 105.5%
- 8月 平均気温 最高 28.8°C (28.4°C) 最低 21.6°C (22.0°C) <M- 1ST>
天候指数 3.41 (3.04) +0.37 前年比 112.0%
- 9月 平均気温 最高 27.0°C (24.0°C) 最低 19.0°C (15.6°C) <M- 2ND>
天候指数 3.56 (3.55) +0.01 前年比 100.3%
- 10月 平均気温 最高 16.68°C (18.3°C) 最低 8.9°C (9.0°C) <M- 5TH>
天候指数 NONE - ピコレ半屋内展開のため記録せず (前年 2.72)

解説)

屋外イベントにおいてはどれだけ天候要因を最小化できるか？がポイントとなります。天候状況を客観的に捉えられるよう、毎日の気温と天気を詳細に記録し、時間帯別（12時・15時・18時）の天気の推移を元に定量化しています。また、モメンタムピークスと題し、時期と天候に起因する人流や利用動機の増減、利用実績にフォーカスした独自の5段階の評価軸を月別に設定しました。今年度はTOTALの天候指数は3.49PT (前年比+0.3)PT 112.4%という実績となりました。M- 1STに突入すると、気温に下支えされた利用動機が高まり多少の雨予報でも予約は入り続け、フリーも動きます。さらに雨天時のキャンセルも最大で2割程度。TOPの売上となった7/19は雨が降り出した土曜日です。週別では過去2年間は海の日のある週がピークでしたが、今年度はお盆期間が天候要件にも恵まれ過去最高の週売上となりました。収入予算設定やフォーキャスト資料策定、さらにはモデルシフト設定によるアサインと人件費コントロールにさらに役立てていけるようにしてまいります。次年度のビアガーデン開催期間は
5/29 (金) ~ 9/13 (日)までの108日間の開催を要望いたします。

【予約数による対比 ※別途資料あり】

テーブルチェックを活用したオンライン予約（WEB予約）の積み上げ

TOTAL	BG（予約組数 & 入客数 比較進捗 ※ビアガーデン開催対比）			
	2025	2024	増減	比率
WEB件数	3,571	2,547	1024	140.2%
TEL件数	705	536	169	131.5%
件数TOTAL	4,276	3,083	1193	138.6%
WEB比率	83.5%	82.6%	0.9%	
TEL比率	16.5%	17.4%	-0.9%	
入客数 TOTAL	42,341	33,046	9,295	128.1%
WEB予約人数	15,257	10,250	5,007	148.8%
TEL予約人数	6,276	4,787	1,277	136.4%
予約人数TOTAL	21,533	15,037	3,445	143.2%
フリー入客TOTAL	20,808	18,009	2,799	115.5%
予約比率	50.9%	45.6%	5.3%	
フリー比率	49.1%	54.4%	-5.3%	

解説)

ロングラン開催のビアガーデンにおいては繰り返しとなります。天候要因をいかに最小化できるか？がポイントとなります。

そこで、さっぽろテレビ塔ビアガーデンでは今年度も引き続き、時間帯の細かな設定を行い予約が1件でも多く入るように回転テーブルを多く作成しました。スタートからアネックスエリアの運用も始められました。これまでの顧客リストが初年度よりも200%を超えたことをはじめ、高齢化による人口減少が本格化しているなか2030年までは成長局面にあると認識します。

さらに予約はすべてプラン利用となりますので、客単価の維持にも寄与しつつ荒天時のキャンセルをヘッジする役割を持ちます。

左記の通り、非常にポジティブな数値が並ぶ結果となりましたが、不安定な立ち上がりもあり、企画や区画の展開をやや後ろ倒しにせざるを得なかったので、次年度以降も前出のモメンタムピークスを活用した詳細分析を根拠に、より戦略的な企画と区画の展開を行い、さらなる予約受注増に繋げていきたいと考えています。

【次年度に向けた振り返りや反省点・改善点】

ひとつひとつ課題を解決して臨んだ2024年でしたが、反省点と改善点を持ち寄って次年度に繋げていきましょう！

2023/24年終了時の課題)

設備・備品課題

※情報共有前

- ◆英字メニュー ◆テーブル番号札（視認性・会計）
- ◆会計カード（プラスチック札）の作成 ◆会計の仕方がわからない
- ◆キャッシュレス決済が行えることの告知
- ◆エクスキューズ（場内案内・トイレ・会計方法など）
- ◆飲み放題と単品オーダーの判別がつきづらい
- ◆床清掃の定期スケジュールと不定期実施のオペレーション
- ◆ワインの利用方法と場所 ◆ワインコーナーにローズマリーのプランター設置
- ◆イベント開催 ◆キャッシュレー増設検討 ◆ジョッキのサイズ
- ◆グラス洗浄マシンとの相性 ◆鍋洗い機（高圧洗浄機）の複数洗浄機導入
- ◆WI-FI環境 ◆問い合わせ専用電話の設置

2025年の良かった点・改善点等)

◆設備・備品課題

◆キッチン課題

ねずみ発生などの衛生面、ビールサーバー周りの清掃強化をお願いしたい。

◆サービス

9月の派遣調整が間に合わずスタッフを多く抱えてしまった。忙しさに慣れずに細やかにスキマと派遣を調整する必要がある。

◆その他) スタッフアサインやさっぽろ祭り等のイベント時について

TIMEE社との発展的協業（リーダー派遣）について11/12（水）担当者と打ち合わせ